

三条別院のご案内

真宗大谷派三条別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-beitsun@wning.on.ne.jp

三条別院に想う

【特別編の結婚式は今】

▲瀧沢さんご夫婦は昨年十一月に三条別院本堂にて仏前結婚式を勤められました。予定していた式が新型コロナウイルス感染症のため一年間延期となりましたが、一年越しの結婚式を無事に終えたお二人に、現在の心境や経緯などを執筆いただきます。

令和三年十一月二十三日、私たちは三条別院で結婚式を挙げました。

周りの人に「お寺で結婚式を挙げるんだ」と話したら、必ずと言っていいほど「お寺って結婚式できるの?」「お寺なんてお葬式とか法事とか悲しいイメージしかないけど…」などと言われました。

しかし私たちにとってお寺は幼い頃から身近な存在でした。

私たちの出身保育園の敷地内にはお寺があり、時々園長先生が園児を本堂に集め大事なお話をしてくれました。毎朝、教室では小さな仏様を拝み「のさまのうた」を歌いました。そして毎年四月には「花まつり」があり、白い象と一

緒に保育園の近くを練り歩き、お友達と甘茶飴を食べるのが楽しみでした。そんな幼少期だったから、お寺に暗いイメージは持たなかったのだと思います。

年月は経って私たちも結婚する年齢になりました。結婚式をどこで挙げるか、という話になった時に真っ先に「仏前結婚式がいい!」と思いました。

ウェディングドレスやタキシードもいけど、日本人なのだから、「日本の伝統的な結婚式を挙げたい」そう思いました。

仏前結婚式は「二人が巡り会えたご縁を仏様やご先祖に感謝・報告する儀式」であり、「自分のルーツや不思議なご縁を大切にしたい」と考える私たちにはピッタリでした。

三条別院で挙式するにあたり、「この人なら力になってくれるかも」と、たびたびローカルメディアを賑わせている三条別院の職員・齋木氏をたずねました。「本堂大解剖ツアー」で「こんな素敵なお寺で結婚式ができたらなあ」と惚れ惚れした三条別院の本堂。ツアー後すぐに齋木氏に一般人の挙式の可否について直談判したのもいい思い出です。海岸御輪番も、突然の司婚のお願いにも関わらず快諾してくれました。

当日を迎えるまでに沢山の方々のご協力のもと、新婦はかねてより憧れだった白無垢をまと

い、地毛結いの文金高島田と角隠し、雅楽の生演奏が響き渡る三条別院の本堂でこの佳き日を迎えることができました。

参列者からも「お寺の結婚式っていいね」「すごくいい式だった」と大好評で、本当にいい思い出になりました。

この場をお借りして三条別院のみなさま、ご協力いただいた方々に改めて感謝を申し上げます。

瀧沢 正登氏
瀧沢 舞氏

(第十五組善性寺門徒)



【御本尊の下で誓いの言葉を読み上げる新郎新婦】

▲さらにお話を聞いてみました！
Q1. 新型コロナウイルス感染症で、一年間結婚式が延期になってしまいました。どのようなお話をもちだつたでしょう？



【控室の書院で記念撮影】

A. せっかく結婚式を挙げるなら後悔はしたくなかった。あまり悩まずに一年延期の決断はできました。感染状況に関しては「お祈り」するしかなかった。 (正登)
A. 家族婚にするとか、新型コロナウイルスが完全に

収束したら挙げる、とか色々考えたけど、どんなに悩んで心配したところで一年先の状況なんて誰にも分からないから…とむしろ冷静に延期を判断できたと思います。悲しいとか、悔しいとか、不思議とそういう気持ちはなかったです。置かれた状況下で出来ること・諦めることを別院スタッフやプランナーと一緒に考えた結果、私たちがらしい式・披露宴ができました。二〇二一年秋は比較的、感染状況は落ち着いていましたので県内在住者に限ってですが親族や友人にも来て頂くことができてよかったです。ただ、高齢で体が弱ってしまった祖父母に晴れ姿を見てもらえなかったのが心残りです。(舞)

Q2. 除夜の鐘、修正会にも来ていただきました。私たちは、実際にもっと参詣者が多ければいいと考えることもあるのですが、お参りしてみてもうでしたか？

A1. お寺での二年参りは初めてでしたが、凛と冷たい空気が漂う真夜中の本堂で聞くお経も予想外に重かった除夜の鐘も、冷えた身体を温めてくれた今泉の年越し蕎麦も、どれも新鮮で良い体験ができました。次回もぜひ行きたいと思えます。(正登)

A2. 二年参りや初詣は神社にしか行ったことがなかったのも何もかもが新鮮でした。除夜の鐘を待つ待合室では、温かい飲み物が頂けたり、別院スタッフや参詣客の楽しい交流が見聞きでき、地域に根ざした、みんなに愛されるお寺なんだなあと改めて感じました。確かに神社と比較するとお寺の参詣客は少ない印象でしたが、

私のように人混みが嫌いな人でも来やすく、それはそれでいいんじゃないかと思えます。今年の二年参りもまたお邪魔しようと思えます。(舞)



○次回の「三条別院に想う」は、

田中美央氏 (ウコン農家)

よりご執筆いただきます

【今回は特別編のDODALO?を使ってみた】

▲「新型コロナウイルス感染症対策が取られる中で、人と人との直接的な対話が減ってきた」という課題の下、三条別院が制作したトークカードの販売が始まりました。ウコン農家の田中さんが、実際に購入して使っていたらどうなのかという情報を得ましたので、その感想等をお聞きしてみます。

宗祖親鸞聖人の御命日の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

また、今月は「年頭会」と兼ねるため、座談会をお休みさせていただきますので、ご了承下さい。なお、前日（二十七日）はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

年頭会には出席人数を確認したいため、参加される方は前日（二十七日）までに（ご連絡ください）。

◆日時 二月二十八日（月） 午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め（御命日 日中法要）

文類偈 行四句目下

念仏讃 淘五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

海岸 秀道（三条別院輪番）

▲二月は年頭会で輪番より法話です。三月からは定例布教の法話講師に引き続き御文五帖目をテーマにお話させていただきます。

定例法話会のご案内

毎月十三日の聞如上人のご命日の定例法話会を宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃お祝い受け事業として開催中です。前八回のうち四回が終了しました。

◆五月二十九日教区慶讃お祝い受け大会に向け、昨年と同じ講師に慶讃テーマ「南無阿彌陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」及び親鸞聖人の「御誕生・立教開宗」を中心に、別院本堂にてお話しいただきます。



▲本年も県内は大雪に見舞われています。直接来院できない方に向けて、YouTube配信もしております。ぜひご参加ください。
チャンネル登録もお願いします。

定例法話

三条教区 慶讃の持ち受け事業

慶讃テーマ
「南無阿彌陀仏

人と生まれたことの意味を
たずねていこう

水嶋聡氏
＜后白河院 善正親 光徳寺＞

寺澤三郎氏
＜北海道教区 善正親 教徳寺＞

中山善雄氏
＜教学研究所 研究員＞

澤面宣了氏
＜長浜教区 善正親 浄願寺＞

会場：三条別院

時間：13:30 お勤め・感話
14:00 法話
15:30 座談
16:30 終了

◆今月の講師
二月 水嶋聡氏（高田教区 光徳寺）
講題 「たづねていこう」

◆今後の講師

三月 寺澤三郎氏（北海道教区 教徳寺）

「お念仏申す生活」

四月 中山善雄氏（教学研究所 研究員）

「生まれいずる恨み―五逆の罪人の救い」

五月 澤面宣了氏（長浜教区 浄願寺）

「常に世の小さき人々と共に生きる」

◆日時・日程

毎月十三日 午後一時半 お勤め・感話

二時 法話、三時半 座談、四時半 終了（予定）

◆持ち物：念珠、勤行本（赤本）、筆記用具

DODDALO? 販売開始

新型コロナウイルス感染症対策が取られる中で従来通りの事業が行えない中、一昨年よりニシムラテザインの協力を得て制作してきたトークカード「DODDALO?」が昨年の三条マルシェ・お取り越し報恩講の先行販売を経て、このたび正式に販売開始となりました。三条別院で販売しています。またDODDALO?のHPからも購入いただけます。詳しくは別紙チラシをご覧ください！

子ども奉仕団中止のご報告

本年の三条別院子ども奉仕団は、新型コロナウイルス感染症が再拡大していることから、一昨年、昨年に引き続き、中止とさせていただきます。

春 彼 岸 会 (予 告)

本年の三条別院春彼岸会は三月十八日(金)から二十日(日)の日程で勤められる予定です。講師は三日間を通して**藤本愛吉氏(三重教区正寶寺)**から、全四座のお話いただく予定です。

また、十九日(土)はお齋として三条ス・パイス研究所と協力して創作した精進カレー**釈迦礼弁**当の提供を計画しております。

なお、一月二十一日より新潟県全域に蔓延防止等重点措置が適用され、期間は三週間程度を見込んであるということです。計画が変更になる場合もありますので、最新情報はHP等で報告させていただきます。



【春の息吹を感じる釈迦礼弁当 sha curry lunch box】

そ の 他 の 講 座 案 内

○別院声明教室

〔月一回、午後六時～八時〕

二月二十五日(金)、三月十四日(月)、

四月十五日(金)、五月十六日(月)、六月十三日(月)

講師 關根大丘氏(第二十組松韻寺) 参加費五〇〇円/回

○別院書道教室 (生徒募集中！)

〔月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分～八時〕

講師 木原光威氏(新潟県書道協会理事)

月謝 三、二〇〇円(テキスト代含む)

随 時 募 集 中

○有志の会庭講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか？

○有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊(絵像)をお迎えして、聞法会を開催しませんか？

○別院奉仕研修プログラム

【奉仕研修真加金】

一人あたり半日(午前または午後) 五百円、一日千円

一泊二日は右記の真加金に順じて半日五百円で計算する。

【その他実費でいただくもの】

①講師謝礼。なお、列座によるお内仏のお給仕・法話は研修真加金に含まれる。②シーツ等クリーニング代千円

③食事代 (要望等ございましたら相談承ります)

◇一月の別院でのフードドライブにご協力いただいた御寺院・御門徒

第十五組善性寺、佐渡組尊得寺、第二十組通心寺

その他匿名含め多くの方々にご協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は二月二十四日(木)です。

◆編集後記◆

一月十七日と十八日の二日間、三条・高田教区の教務所・別院・センター職員交流研修があり、そこに出席させていただきました。

各別院の運営状況を情報交換していくなかで、教化事業の面だけでなく建物と境内地の維持設備状況(高田別院には境内地と山門前道路に消雪設備がなく、教務所と別院職員総出で毎日雪かきをしているそうです)・立地条件等の細かい違いを知ることができ、それぞれの別院を護持していくことの大変さを考えさせられました。

また一方で、高田教区の皆さんとの交流が、将来的に各別院にいい方向に作用すればという期待をも持てる交流研修でした。

個人的なことでは、皆さんからお話を聞き考えることで、自分の抱える不安が少しだけ和らいだ気がします。

帰りの車中、変わっていく世間と教区・別院だけでなく、そのなかで不安を抱える自分も今の時代にあるべきようとは何かと、人から話を聞き考えることで求め続けるしかないのだなと、新潟県内にまん延防止等重点措置が適用されるとのニュースが流れるなか、ふと思った次第です。

(松浦)